

地域再生計画

1.地域再生計画の名称

北栄町「美しい由良川」再生計画

2.地域再生計画の作成主体の名称

鳥取県東伯郡北栄町

3.地域再生計画の区域

鳥取県東伯郡北栄町の全域

4.地域再生計画の目標

北栄町は、鳥取県の中央部に位置し、人口 16,884 人（平成 17 年 9 月 1 日現在）、面積 57.15 平方キロメートルで、町の西部を 2 級河川由良川が流れている。その支流として日和川・前川・北条川・浅津川・大倉川・円城寺川・亀谷川・野田川・高千穂川・西高尾川があり、約 20 箇所の農業用のため池がある。

以前は川で水遊びができたほか、ホタルも多く飛び回るなど豊かな自然と美しい川があった。しかし近年では経済発展と文化的生活の向上により、各事業所及び家庭等から排出される生活雑排水等により、由良川の水質汚濁や自然環境の悪化が進み、昆虫（ホタルなど）や魚（フナ、ドジョウなど）が減少し、かつてのように子供たちがいろいろな生き物と接し水辺で遊ぶ機会が少なくなっている。

町では、このように年々悪化している由良川の水質や景観を改善し住みよい町づくりを進めると同時に子供達が自然体験学習等を通じて自然環境の大切さを実感できるまちづくりを推進している。既に平成 3 年度より、生活排水を処理するために、町の中心部より公共下水道事業を行っているが、平成 16 年度末の北栄町の汚水処理人口普及率は 78.8% で全国平均（79.4%）より低い状況となっている。また、町南部の集落においては生活排水の処理が進んでいない状況にあるため、本事業の交付金を活用することにより公共下水道事業の更なる推進を図ると共に、一部の集落においては、浄化槽事業（市町村設置型）の導入を計画している。

また、自然環境改善の取組みの一環として児童や生徒に自然体験学習の場を与えるため、水辺の楽校を建設し、昔のような子供が遊べる美しい川づくり活動を行っているほか、由良川下りイカダレースにより、由良川の歴史と文化を学び、親しみながら自然環境の保全と美化、青少年の健全育成地域連帯感の醸成を図っている。こうした意識のより一層の醸成を図ることで「自分たちが住む地域の環境は自分たちが守り育てる」というボランティア活動スタンスの拡大が期待される。その上で、従来生息していたホタルや魚を川に取り戻し、水質の改善及び生活環境の改善を図り、情緒豊かな町づくりをすることにより、農村地域の再生を目指す。

- (目標1) 北栄町の污水处理施設の整備の促進(污水处理人口普及率を78.8%から85.1%に向上)
- (目標2) 北栄町の住民の自然環境愛護の意識高揚と自発的な活動の活性化(ボランティア団体の育成:団体数5から10、参加者数450人から920人)
- (目標3) 水辺の楽校を利用した自然体験学習の積極的推進(学習回数0から5、参加者数0人から150人)
- (目標4) 公共用水域の水質を改善(由良川の水質 BOD3.4mg/L から1.5mg/L)

5.目標を達成するために行う事業

5 - 1 全体の概要

污水处理人口普及率を高めるため、公共下水道事業により原、東亀谷、亀谷、下種、茶ヤ条を、浄化槽事業(市町村設置型)により松神の一部、田井の一部、北尾の一部、江北浜の一部、東新田場の一部、米里の一部、由良宿3区の一部、青木、岩坪、高千穂を整備し、污水处理施設整備の促進を図る。

公共下水道事業において平成9年11月28日認定済

5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

污水处理施設整備交付金を活用する事業

整備箇所等については、別添の整備箇所に示した図面による。

[事業主体]

- ・北栄町

[施設の種類]

- ・公共下水道、浄化槽

[事業区域]

- ・公共下水道 北栄町の原、東亀谷、亀谷、下種、茶ヤ条
- ・浄化槽 北栄町松神の一部、田井の一部、北尾の一部、江北浜の一部、東新田場の一部、米里の一部、由良宿3区の一部、青木、岩坪、高千穂

[事業期間]

- ・公共下水道 平成17年度～21年度
- ・浄化槽 平成18年度～20年度

[整備量]

- ・公共下水道 75～150 6,300m
- ・浄化槽(市町村設置型) 63基

なお、各施設による新規の処理人口は下記のとおり。

公共下水道 580人、浄化槽 270人

[事業費]

・ 公共下水道	620,000千円 (うち、単独 80,000千円) (うち、国費 270,000千円)
・ 浄化槽(市町村設置型)	165,000千円 (うち、単独 94,020千円) (うち、国費 23,660千円)
・ 合計	785,000千円 (うち、単独 174,020千円) (うち、国費 293,660千円)

5 - 3 その他の事業

1 水辺の楽校

子供たちの遊びの場、自然体験の場、自然学習の場として、水辺に近づくことができる河川整備を行う。水辺への魅力をつくることにより地域交流の拠点とする。

2 由良川下りイカダレース

由良川の歴史と文化を学び、親しみながら自然環境の保全と美化、青少年の健全育成と地域連帯感の醸成を図る。

3 ボランティアの育成

自然環境と美化に対する住民の意識高揚と自発的活動を促すことにより、河川愛護活動の一層の推進を図り、美しい由良川をつくる。

6.計画期間

平成17年度～21年度

7.目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4に示す数値目標について照らし状況を調査、評価し、公表する。また、必要に応じて事業の内容の見直しを図るために、施設の整備状況について評価・検討を行う。

なお、整備された汚水処理施設については、水質検査、維持管理等が適切に行われていることについて、施設管理者と異なる第三者が行った水質検査等を把握する。

8.地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし